

令和4年8月18日	
資 料 提 供	
担当課（室）	かつらぎ町教育委員会生涯学習課
担 当 者	副主任文化財専門員 和田大作
電話（代表）	0736-22-0303（内線 3019）

＜かつらぎ町は文化の交差点！ 歴史の道をテーマに講演会を開催＞

かつらぎ町の文化財の特色である歴史の道をテーマに講演会を開催します。講演は、古代の幹線道路「南海道」のルート復元に関するもの1本と、世界遺産構成資産「高野参詣道町石道」で参詣者を地元有志がもてなすお接待に関するもの2本です。

南海道のルート復元・町石道におけるお接待という内容の講演はいずれも初めてです。

かつらぎ町は交通関係の文化財が多く歴史的に文物が行き交う要衝の地です。このことを周知し観光にも訪れてもらうため、文化財と観光という視点から、教育委員会・観光協会が企画し、初共催します。

なお、本講演会は、かつらぎ町ふるさと発掘スタンプラリー2022（スタンプ3種類でオリジナル野帳、全7種類を集めると達成証がもらえる）の対象イベントです。

1. 日 時 : 令和4年8月27日（土） 午後1時30分～5時（休憩あり）

2. 場 所 : かつらぎ総合文化会館A Vホール
（住所） かつらぎ町大字丁ノ町2454番地
（電話） 0736-22-0303

3. 対 象 : 一般（無料、申込不要）

4. 内 容 : 『紀伊国の南海道^{えきろ}駅路—伊都郡を中心に—』
講師 ^{おおおか}大岡 ^{やすゆき}康之（元 橋本市郷土資料館館長）

『高野参詣道町石道における接待場の整備について』（接待場をもっと多くのみなさんに知ってもらいたい）

講師 ^{きたおか}北岡 ^{ひでつぐ}英二（教良寺区）

『整地および巡礼道におけるお接待—高野参詣を支える地域住民の質的研究—』

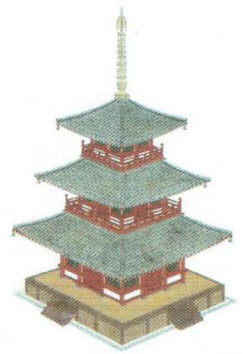
講師 ^{やなた}築田 ^{かおり}香織（横浜市立大学都市社会文化研究科 客員研究員）

*講演会及びスタンプラリーの詳細は別添チラシ。

5. 主 催 かつらぎ町教育委員会・かつらぎ町観光協会
後 援

参考②

歴史の道



8月27日
sat

— 今に伝える文化の証 —



紀伊山地の
霊場と参詣道

2

かつらぎ町
ふるさと発掘
スタンプラリー
2022



『紀伊国の南海道駅路 — 伊都郡を中心に —』
講師 / 大岡 康之

『高野参詣道町石道における接待場の整備について』
(接待場をもっと多くの皆さんに知ってもらいたい)
講師 / 北岡 英二

『聖地および巡礼道におけるお接待
— 高野山参詣を支える地域住民の質的研究 —』
講師 / 築田 香織

時 間 13:30 ~ 17:00 (休憩を含む)
場 所 かつらぎ総合文化会館 AVホール
住 所 かつらぎ町丁ノ町2454
定 員 200名



※ 入場無料・事前申込不要です。直接会場へお越しください。

主催 | かつらぎ町教育委員会・かつらぎ町観光協会

お問合せ | かつらぎ町教育委員会 生涯学習課 文化振興係 (0736-22-0303 内線3019)

～文化の交差点、かつらぎ町～

かつらぎ町は和歌山県の北東部に位置し、北は大阪府河内長野市・和泉市・岸和田市と接し、水上交通路でもある紀の川が町を東西に流れています。原始には東日本や九州地方、中国地方など様々な地域とのつながりがありました（中飯降遺跡^{なかいぶりいせき}）。古代には当時の首都圏の南限となり（背山）、京との関係が濃い古代寺院が建立され（佐野寺跡^{さやぐらあと}）、国家的な幹線道路のひとつである南海道が通っていました。また、紀伊山地北西部一帯を領地とした丹生都比売神の総本社（丹生都比売神社^{にうつひめじんじや}）とそのかつての里宮（丹生酒殿神社^{にうさかどのじんじや}）が鎮座し、それらを高野参詣道（三谷坂・町石道など）が結んでいて、世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』を構成しています。このようにかつらぎ町は、数多くの文化的拠点と主要交通路・参詣道を有し、歴史的に文物が行き交う要衝の地でした。

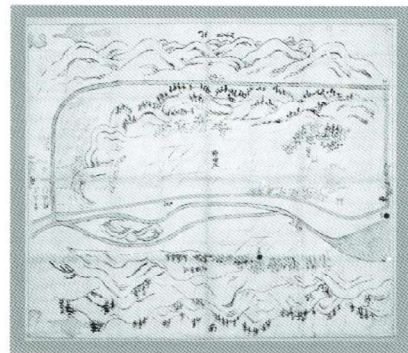
文化の交差点であるかつらぎ町。今回の講演会では、古代の幹線道路「南海道」と世界遺産構成資産である「高野参詣道町石道」を取り上げ、中央と地方、参詣者と地域住民、過去と未来など、様々なつながりについて考えてみたいと思います。

『紀伊国の南海道駅路 — 伊都郡を中心に —』

大岡 康之（元 橋本市郷土資料館館長）

長らく実態が不明となっていた古代の幹線道路「南海道駅路」。空中写真を利用し、考古学・文献史学・歴史地理学的検討を加え、伊都郡、特にかつらぎ町内を中心にそのルート復元を試みます。

経歴 / 橋本市教育委員会で文化財専門職に30年以上従事、定年退職後も橋本市郷土資料館館長などを歴任、文化財の普及活動に携わる。専門は日本史学。



重要文化財「紀伊国栲田荘絵図」

『高野参詣道町石道における接待場の整備について』

（接待場をもっと多くの皆さんに知ってもらいたい）

北岡 英二（教良寺区）

真言宗の開祖、弘法大師（空海）は、西暦835年3月21日に入定しました。毎年この入定の日に高野山で行われる法会を『御影供（みえく）』といい、大正時代の末期まで人々は歩いて高野山を目指しました。

当時、御影供の日に教良寺村の有志たちが高野詣の人々に、この場所で握り飯や湯茶の接待を行ったことから『接待場』と言い伝えられています。

ここには、弘法大師（空海）の石像があり、この石像を拝むと「遠く高野山奥の院の御廟を望む」と言われています。

経歴 / 団体職員を定年退職後農業に従事。趣味は町石道参詣登山。



『聖地および巡礼道におけるお接待』

—高野山参詣を支える地域住民の質的研究—（横浜市立大学都市社会文化研究科 客員研究員）

築田 香織

高野山参詣におけるお接待について報告します。お接待とは、参詣道周辺の住民などが、信仰心に基づいて参詣者をもてなす行為です。今回は、①このお接待が参詣手段の変化によって、どのように変容してきたのか、②参詣と観光が交錯する現在、どのようなお接待が提供されているのか、という2つの問いを中心に講演したいと思います。

経歴 / 現在、横浜市立大学都市社会文化研究科 客員研究員、和歌山大学国際観光学研究センター 客員フェローを務める。2022年3月和歌山大学大学院観光学研究科にて、博士（観光学）を取得。専門は聖地観光、巡礼、宗教ツーリズム、スピリチュアリティ。



開催
期間

7/5(火)

R5/3/31(金)

参加無料!
申込不要!

かつらぎ町

ふるさと発掘 スタンプラリー 2022

期間中 **7箇所** の会場に **3種類以上**

設置されているスタンプを、
集めて生涯学習課に提示頂いた方
に、『オリジナル野帳』を先着 100
人にプレゼント!! さらに全種類
集めた方には、もれなく『達成証』
を進呈。



※イメージ

スタンプカード台紙は7月5日(火)より、文化振
興係および町内の各公民館で配布します。

(スタンプカード台紙は一人一枚まで)

1 庁舎内展示 Vol. 9 『古代の信仰と道』

時 間 8:30 ~ 17:15

場 所 役場玄関左手(かつらぎ町丁ノ町
2160) および かつらぎ総合文化会館
エレベーターホール(かつらぎ町丁ノ町2454)

7/5(火)
↓
10/3(月)

3 庁舎内展示 Vol. 10 『ふるさとの特産と食文化』

時 間 8:30 ~ 17:15

場 所 役場玄関左手(かつらぎ町丁ノ町
2160) および かつらぎ総合文化会館
エレベーターホール(かつらぎ町丁ノ町2454)

10/4(火)
↓
1/10(火)
R5

5 中飯降遺跡現地学習会

時 間 第1回 13:00 ~

第2回 14:00 ~ (各30分説明)

場 所 中飯降遺跡保存学習施設

住 所 かつらぎ町中飯降538-1

※駐車場は中飯降児童館を使用ください。

12/4
(日)

7 佐野寺跡現地学習会

時 間 第1回 13:00 ~

第2回 14:00 ~ (各30分説明)

場 所 県史跡佐野寺跡

住 所 かつらぎ町佐野540-1

R5
3/12
(日)

2 講演会 『歴史の道 —今に伝える文化の証—』

時 間 13:30 ~ 17:00

講 師 おおおか やすゆき 大岡 康之(元 橋本市郷土資料館館長)

きたおか ひでつぐ 北岡 英二(教良寺区)

やなた かおり 築田 香織(横浜市立大学都市社会文化研究科 客員研究員)

場 所 かつらぎ総合文化会館 AV ホール

住 所 かつらぎ町丁ノ町2454

8/27
(土)

4 展覧会『うつりかわる台所 —原始~中世の食文化—』

時 間 9:00 ~ 17:00

場 所 妙寺公民館 1階オープンスペース

住 所 かつらぎ町妙寺445-1

11/30(水)
↓
12/4(日)

6 庁舎内展示 Vol. 11 『佐野寺跡のナゾ』

時 間 8:30 ~ 17:15

場 所 役場玄関左手(かつらぎ町丁ノ町
2160) および かつらぎ総合文化会館

エレベーターホール(かつらぎ町丁ノ町2454)

R5
1/11(水)
↓
3/31(金)

【引き換え場所と期間】

11月30日~12月4日は妙寺公民館、令和5年3月12日は現地会場、
それ以外は生涯学習課で行います。令和5年3月31日(金)まで。

お問合せ

かつらぎ町教育委員会 生涯学習課 文化振興係
(0736-22-0303 内線3019)